

## 翻訳におけるインドネシア語の完了・過去を表す sudah/teilah に関する一考察

レスティアニ, ユリ  
九州大学大学院比較社会文化学府博士後期課程

松村, 瑞子  
九州大学大学院言語文化研究院言語環境学部門 : 教授 : 言語教育学講座

<https://doi.org/10.15017/25663>

---

出版情報 : 言語文化論究. 29, pp.33-45, 2012-10-24. 九州大学大学院言語文化研究院  
バージョン :  
権利関係 :

## 翻訳におけるインドネシア語の完了・過去を表す sudah/telah に関する一考察

ユリ レスティアニ<sup>i</sup>、松村瑞子

### 1. はじめに

ある言語にテンス・アスペクトが有るか否かを動詞活用の有無によって決める定義に基づくと、動詞が活用しないインドネシア語はテンス・アスペクトのない言語に属するといえよう（寺村：1984, McGinn 1985, McCoy 1985）。インドネシア語で時間やアスペクトを表す表現としては時間副詞、助動詞、接辞の付加等が多く存在しているが、それらは単独または二つ以上を組み合わせられて用いられる。

- (1) 「でも大丈夫よ。今日はすごく可愛い下着だから。」

“Tapi, tak apa-apa.

しかし 否定 大丈夫

Karena hari ini aku memakai celana dalam yang cantik, …

だから 今日 私 *meN*-着る 下着 関係代名詞 yang きれい・・・

- (2) 自分たちは誰かの看病をしたり、店を手伝ったりしながら毎日を忙しく送ることに馴れてしまっていたのだ、と緑は言った。

Mereka sudah terbiasa dengan sehari-hari yang

彼ら 機能語<sup>ii</sup> sudah er- 馴れる 関係代名詞 dengan se日・日 関係代名詞 yang

sibuk merawat seseorang atau membantu pekerjaan di toko, kata Midori.

忙しい *meN*-看病 誰か または *meN*-手伝う 仕事 で 店、言う 緑。

例 (1) の日本語の起点テキスト (Source Text 「ST」) には「今日」という時間副詞があるため、目標テキスト (Target Text 「TT」) であるインドネシア語においても「今日」という副詞によって時間がはっきりと示されるが、(2) のように時間副詞が文中に言及されていない場合は文脈に依存し、「馴れてしまっていた」が sudah terbiasa になっている。(2) の sudah terbiasa は「機能語 sudah」と「接頭辞 ter」という二つのアスペクトマーカーが組み合わせられて用いられている。Sudah は、過去や完了の様相を示す機能語であり、ter は完了性を持つ接頭辞である。例 (1) と (2) に表されるように、日本語のテンスをインドネシア語に訳す時に、絶対時制は時間副詞のほか、過去形の場合は「完了」の様相を示す機能語 sudah によって表される。

過去・完了を示す機能語については、多くのインドネシア語に関する基礎的な教科書では、インドネシア語で過去を示すには sudah/telah を用いることができると説明されている。Sudah と telah の違いについて、多くのインドネシア語母語話者は「(違いは) ほとんどなく、両者は置き替えるこ

とができる」という。また、基礎インドネシア語教科書や先行研究においても、そのほとんどは sudah を中心として説明しており、telah との共通点・相違点の説明はほとんどない。このように、ほとんどのインドネシア語母語話者、インドネシア語言語学者や専門家は sudah/telah の意味機能を区別できないのである (Abbot 1995)。

本稿は、日本語⇄インドネシア語の翻訳において、テンスの「過去」及びアスペクトの「完了」を表す sudah と telah の意味機能をまとめ、翻訳文における共通点と相違点を指摘し、その結果に基づき sudah/telah の現代インドネシア語における使用状況を明らかにすることを目的とする。

## 2. 研究方法・資料

インドネシア語には多くの地方言語がある<sup>iii</sup>が、一般にマレー語が起源であることが知られており、これまでの先行研究で使用されてきた資料には、マレー語や古いインドネシア語のものが多かった。確かに、インドネシア語はオランダの植民地時代にはマレー語を起源としたインドネシア共和国の共通語とされた言語だが、現代のインドネシア語は外国語（主にオランダ語）や地方言語の影響を受け、本来のマレー語とはかなり変化している。現代のインドネシア語のテンス・アスペクトの機能を調査するには、適切な資料を慎重に選ぶ必要があると考える。本研究では現代日本語の小説とそのインドネシア語版を選択した。以下、日本語の題名、著者、出版社、出版年、インドネシア語の題名、翻訳者、出版社、出版年を順に挙げる。

- ・村上春樹、『ノルウェイの森』、講談社文庫、1987年
- ・イ訳：Jonjon Johana, *Norwegian Woods*, Kepustakaan Populer Gramedia, 2005.

## 3. インドネシア語での時間・相の表現形式について

インドネシア語での時間の表現形式について簡単に説明しておきたい。上でも述べたように、インドネシア語は動詞が活用しないため、時間を示すには時間副詞が用いられることが多い。

### (3) 「そうだね。その時、君は確か長い詩を書いていたな」

“Iya ya, waktu itu, kalau tidak salah kau menulis sajak yang  
 そうだね、その時、～たら ない 間違い 君 meN-書く 詩 関係代名詞 yang  
 sangat panjang  
 とても 長い

### (4) 今週末、天気が良かったら動物園でも行きましょう！

Akhir pekan ini, bila cuaca baik bagaimana kalau kita ke kebun binatang?  
 週末 この もし 気候 良い いかが ～たら 私達へ 動物園？

(3) では、「その時 (waktu itu)」があるため、「書く」の動作が過去であり、また「今週末 (akhir pekan ini)」があるから「行く」動作が非過去であることが分かる。発話時との前後関係がはっきりとしていて、(3) と (4) のような時間副詞は「絶対テンスを示す時間副詞」に属すると考えられる。しかし、インドネシア語では、(3) と (4) のように時間副詞が使用されることは減多にない。Restiani (2010) では、「～ている」「～ていた」が研究対象の1126のデータから、テンス・マーカーを用いて文の表す時と発話時の時間関係が示される文が298個しかなく、時間副詞の使用例も72個

しかないことを示した。インドネシア語はテンスが無い上に、テンス・マーカの使用率も低い。また、例 (3) と (4) のような「絶対テンス」を示す時間副詞の他、場合によってはアスペクト・マーカを用いて、各アスペクト・マーカの意味機能によって文のテンスが示されることもある。下記の例を見られたい。

- (5) 朝になると雨は上がっていた。

Pagi hari hujan sudah reda.

朝 日 雨 もう やむ

- (6) 「もちろんずっと覚えているよ」

“Tentu saja! Aku akan terus mengingatnya.”

もちろん! 私 未来を示す語 ずっと meN-覚える-nya

- (7) 「お姉さんは婚約者とデートしているの。

Kakakku sedang kencan dengan tunangannya.

お姉 進行を示す機能語 sedang デート と フィアンセー。

(5) では機能語 sudah が用いられ、朝になる前のある時点で雨が上がり、その上がった結果状態が朝にも継続していることを示す。(6) では akan が用いられ、「覚える」動作が発話時以降に続くことを意味する。例えば、「約束のことをわすれていたんじゃないよね?」という質問に (6) と同じ返答の場合、そのインドネシア語訳は「aku (私) selalu (いつも) mengingatnya (meN-覚える-nya (約束)」になる。ここでのインドネシア語訳には未来性を示す akan が現れない。また、例 (7) は、機能語 sedang が「デート」の動作が進行していることを示している。このように、例 (5) から (7) に用いられているアスペクト性を持つ機能語 sudah, akan, sedang によって、「過去」「未来」「現在」という時間を示したのである。つまり、インドネシア語では時間は、時間副詞のほか、機能語を用いることで示される。

上記でも言及した通り、Restiani (2010) の研究資料では、1126のデータに対し、時間副詞や機能語の単独または組み合わせの使用回数は298回しかない。インドネシア語では時間ははっきりと表現されないことが多い為、一般にテンスのない言語と考えられているといえる。先行研究や教科書では、インドネシアの時間や相を説明しようとする試みはあったが、アスペクト・マーカあるいはテンス・マーカとして明確に区別することについては意見が分かれている。テンス・マーカの代わりに「相対時制マーカ」として扱う言語学者もいる (Munaf 1951, Simorangkir-Simandjuntak 1955, Kwee 1965, Mees 1969, Danusugondo 1975)。ある語がテンス性とアスペクト性の両方を兼ねている言語はもちろんインドネシア語のみではない (Abbot 1995) が、インドネシア語においては特にその性質があることが指摘されている (森村 1996)。

インドネシア語のアスペクトマーカは多数で非常に複雑である (Abbot 1995:27)。先行研究や基礎インドネシア語の教科書に基づいて、インドネシア語のアスペクト・マーカの種類を下記の通りに分類した。

表1 インドネシア語のAspect・マーカー

性質	種類
「完了」「パーフェクト」	sudah/telah 「すでに、もう」、baru 「～したところ」
「未完了」「未然」	akan/hendak/mau 「～であろう(未来)」、kelak 「後日」、nanti 「やがて」、belum 「まだ」
「継続」「進行」	lagi/sedang/tengah 「～している(持続)」、masih 「まだ」、kini 「現在」、sekarang 「今」
「不定」「習慣」	kadang-kadang 「時々」、selalu 「常に、いつも」、sering/sering kali 「しばしば」、sediakala 「いつも通り」、senantiasa 「いつも」、setiap kali 「毎回」、biasanya 「通常、普段」、jarang 「めったに～しない」、tidak pernah 「決して～してない」、pernah 「～したことがある」

## 4. インドネシア語の sudah と telah について

インドネシア語は、文脈に依存して、動詞から時を判断することができる。しかし、時間は時折時間副詞や機能語の使用によって示される場合もある。完了または過去のマーカーとしてよく用いられるのが機能語 sudah/telah である。Sudah と telah の意味機能を下記の通りまとめてみた。

表2 sudah と telah の意味機能の先行研究概観

	sudah	telah	先行研究
テンス・マーカーとして	意味：動詞の過去形 位置：動詞の前に置く		末永 1976、森山 2003、 ホラス 2005、Chaer 2009
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ある動作をした場合、ある出来事または状態が発生した場合</li> <li>ある状態が始まり、そしてそのまま継続する</li> <li>副詞の前に置くと、英語の already に等しい。</li> </ul>		Sneddon 1996、Chaer 2009
Aspect・マーカーとして	完了を示す		Mintz 1994、森山 2003、
	動作の完了を示す ある出来事、動作が完了したり、発生したことを示す		森村 1981、Sneddon 1996、 Sneddon 1996、Chaer 2009
文体	<ul style="list-style-type: none"> <li>口語</li> <li>sudah が中心的に用いられる</li> <li>インフォーマルから最もフォーマルな場面</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文語</li> <li>フォーマルな場面</li> <li>書き言葉的、非常にフォーマルな話し言葉</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>末永 1976</li> <li>Mintz 1994</li> <li>Sneddon 1996</li> </ul>
相関性	双方が置き替わることが可能である(兼用可能)		Sneddon 1996、Chaer 2009
前文・文脈との位置関係	前の文と関係性を持つ(関連している)		Sneddon 1996、森山 2003、 Chaer 2009

日本語で出版された基礎インドネシア語の教科書は、殆ど1970年代のものが多く2000年代に出版

されたものは文法に関する教科書というよりも会話を中心とした実践的な教科書である。また、sudah と telah の意味機能については過去・完了を示す語としか説明されておらず、どちらも同じ意味であり双方の置き替えが可能であるという。また、英文の先行研究では、日本語のものより詳しく説明されているが、意味機能については殆ど日本語の説明と変わらない。日本語や英語の先行研究では殆ど sudah が中心となっているが、Kamus Besar Bahasa Indonesia (インドネシア語大辞典 KBBI) では、telah は動作・状態が完了・終了しており、過去・完了を示す助動詞であるという説明があるのに対し、sudah については telah を参照という記述のみがある。インドネシア語非母語話者と母語話者の言語学者に sudah と telah に対する認識の違いがあると考えられる。

Sudah/teilah の相違点についてさらに詳しく研究した Abbot (1995) と Grangé (2010) は下記の通りまとめることができる。

表3 sudah と telah の相違点についての先行研究

	sudah	telah
Abbot (1995)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 非継続的</li> <li>• 発話時直後～10年間</li> <li>• 一つの動作・状態の直後</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 継続的</li> <li>• 永久に等しい</li> <li>• ゆっくりとした時間の流れの印象</li> </ul>
	双方の入れ替えが可能な場合は絶対的ではなく、文脈（特に発話者・語り手の視点）による。	
Grangé (2010)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• パーフェクト相</li> <li>• 結果状態を示す</li> <li>• 状態動詞の場合、進行性を示す</li> <li>• 開始や完了を示す</li> <li>• 発話者の主観性（ムード）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ムード的ではない（発話者の客観性）</li> <li>• ムードとパーフェクトの中立</li> </ul>

Abbot (1995) は、データが不十分であり、se- 接頭辞が付く sesudah と setelah が同様に扱われるというところが問題である。Se- 接頭辞が接続詞の機能を持ち、動詞の表す出来事を「…した時」「…してから」の意味を指すため、前の動詞や状態との時間的位置関係を示すものであると考えられる。また、Grangé (2010) では、sudah/teilah のムード的意味の有無の違いが指摘され、それらに伴う助動詞の組み合わせによってアスペクトの意味機能がまた多様であることが明らかにされる。

## 5. 翻訳に見られる「完了」の sudah と telah

以上、インドネシア語のテンス・アスペクトマーカー、そして sudah/teilah の先行研究概観や共通点・相違点について簡単に紹介した。簡単にまとめると、sudah と telah の相違点はある程度までは説明されているが、日本語に翻訳した場合にその相違がどのようになるかは明らかではない。そこで本稿では、sudah/teilah の日本語訳における相違点を明らかにするために、日本語の小説をインドネシア語へ翻訳する際に見られる sudah と telah の意味機能の分析、考察を行う。尚、sudah と telah の派生語である sesudah と setelah もあるが、紙面の都合上本稿では除外することにする。

まず、各資料 における「～ている」「～ていた」の sudah と telah への翻訳の出現率をまとめた。

表4 日本語からインドネシア語への翻訳における sudah と telah 出現回数(全体・上、文末・下)

	小 説 題 目	Sudah	Telah
1	Norwegian Wood (2005年訳、原文から直接翻訳)	120 (84.51%)	22 (15.49%)
		43 (95.56%)	2 (4.44%)

上記の表4(下)によると、文末に出現した「～ている」「～ていた」を限定して、各動詞に対応するインドネシア語の sudah/telah<sup>iv</sup>を見ると、sudah が43回出現しているのに対し、telah はわずか2回しか出現していないことが確認された。また、文末の「～ている」「～ていた」の対照研究資料の全体から抽出された sudah/telah の数値は表4(上)の120と22である。全体の資料から見ても sudah の使用率が圧倒的に高く、telah が非常に少ない。次に、2回出現した telah の例を見られたい。

- (8) もう夜はすっかり明けていた。

Malam benar-benar telah sirna.  
夜 すっかり すでに なくなった

- (9) 湖のように深く澄んだ瞳と恥ずかしそうにゆれる小さな唇だけは前と変わりなかったけれど、全体としてみると彼女の美しさは成熟した女性のそれへと変化していた。

Hanya matanya yang jernih dan dalam bagai lautan  
だけ 瞳-関係代名詞 nya 関係代名詞 yang 透明 と 深い のように 海  
serta bibirnya yang kecil yang bergetar  
それと 唇-関係代名詞 nya 関係代名詞 yang 小さい 関係代名詞 yang ber 震える  
seakan malu, sama seperti dulu, namun jika dilihat secara menyeluruh  
のように 恥ずかしい 同じ のように 昔 しかし もし di 見る 方法 me 全体  
kecantikannya telah berubah menjadi kecantikan wanita matang.  
美しさ-関係代名詞 nya すでに 変わった になった 美しさ 熟女

2つの telah は何れも「～ていた」という形式で現れており、どちらも状態が過去に起こり、その結果が発話時まで継続していることを示す。要するに、例(8)と(9)は「結果状態」を示すものである。Abbot は、Echols and Shadily (1989) によると sudah は過去の状態・状況を示すのに対し telah は過去の動作を表す、と述べた(1995: 31)。しかし、本稿の対照研究資料においては、まったく逆の傾向が見られ、telah が過去の状態が現在まで継続していることを表すことができることが分かった。

村上春樹『ノルウェイの森』のインドネシア語訳には sudah の否定文は4つ(「～ている」1つ、「～ていた」3つ)観察されたが、telah の否定文は全く見られなかった。

- (10) ある日僕が学校から戻ってみると、彼の荷物は全部なくなっていた。

Suatu hari sepulangku dari kampus, semua barangnya sudah tidak ada.  
ある 日 帰った-私 から キャンパス 全部 荷物-関係代名詞 nya すでに ない ある

- (11) プリンストン・ユニヴァシティーという文字の入ったヨットパーカと綿のズボンという格好で、金のイヤリングも消えていた。

Ia muncul dengan kaus Yacht Parker bertuliskan Princeton University  
 彼女 出てくる と シャツ ショット パーカー 書いてある プリンストン 大学  
 dan berceklana katun, sekarang anting-antingnya sudah tidak kelihatan lagi.  
 と ber 着る 綿 今 イヤリング-関係代名詞 nya すでに ない 見えた もう

ST では特に否定形ではないが、ある状態がなくなった、または消えた、視界から見えない状態に変化したことを表す。例 (10) では「あった」状態から「なくなった」状態に変化したことを、TT では ada (ある) の状態から tidak ada (ない) という状態への変化を意味する表現で表している。また、例 (11) は「見えた」状態から「見えない」「消えていた」状態になったものであるが、インドネシア語訳では「消える」menghilang である。しかし、ここでは、無意識に消えていたのではなく、語り手または発話者の視界からは見えないというように訳されている。この二つは、状況を客観的に描写するのではなく、語り手の意識や視点から描写しているように訳されているのであろう。発話者の視点がある程度 sudah/telah の使い分けに関係しているのであろう (Abbot 1995:91) が、その視点が発話者 (小説では語り手) の視界と関連すると考えられる。また、sudah 否定文は全て、「～ていた」の訳文として訳出されている。Sudah の否定文は過去に起きた状態が現在まで継続している「結果状態」を表すものに用いられ、現在の非過去の否定は tidak (ない) のみで「(無くなった結果) 今もない」ことを表すため、この sudah は「結果状態」を示すと同時に過去を示していると思われる。

インドネシア語の動詞は活用しないが、語根<sup>V</sup>の前・中・後に接辞を付加または挿入することで派生語が作られる。日本語からインドネシア語への翻訳においても、機能語や時間副詞の使用は全体の26%しか観察されていない (Restiani 2010)。インドネシア語の接辞には接頭辞 ber-, ter-, me-, di-, ke-, per-, pe-, があるが、全ての対象資料において sudah/telah と接頭辞 ber-, ter-, me-, di-, ke-, pe- との共起が観察された。インドネシア語のテンス・アスペクトマーカ分析をした先行研究においては、sudah/telah と接辞との関係については触れられていない。Abbot (1995) も接頭辞のことにはふれず、sudah/telah と動詞との関係のみを記述している。しかし、接頭辞はアスペクトに関連する意味を表す。牛江 (1975) によると ter- 接頭辞は下記のような意味機能をもっている。

表5 ter 接頭辞の意味機能

接辞	派生語の品詞	意味上の傾向	例
ter-	自動詞	無意識・無自覚「ふと…する」「突然…する」	terjaga ふと目がさめる
	他動詞	無意識・無自覚「ふと…する」「間違っ…する」	terminum 間違っ…飲む
		可能「…できる」	tercapai 実現できる
		完了「…してしまう」	terjual 売れてしまう
形容詞	最上級「もっとも…である」	terberat もっとも多い	
	完了の二次的用法	tersebut 先述の	

もちろん、「完了」を示すとき、知らず知らずのうちに売ってしまったという捉え方ではなく、行為として完全に売ってしまったというパーフェクトを示す場合もある。しかし、上記の例では ter- は jual (売る) につき、「売れてしまう」という「知らず知らずのうちに売ってしまった」という解



積になる。本稿の研究資料でも、「馴れる」(～ている、～ていた)、「廃家と化する」「馴染む」「積もる」「結びつきあう」(～ていた)の訳文に訳出されており、接頭辞がアスペクトの解釈に影響を与えていると言える。STは「徐々に変化していった」ものであり、TTでは【結果状態】を示している(例(12)と(13))。

- (12) 「私たちお葬式には馴れているの。…」

“Kami sudah terbiasa dengan upacara kematian. ….”

私達すでに ter 馴れる に 儀式 死

- (13) 考えてみれば我々は最初から生死の境い目で結びつきあっていたんです」

Kalau dipikir-pikir, sejak awal kami sudah saling terikat dalam batas

～たら di 考える から 初め 私達すでに 互いに ter 結ぶ 中 境い目

hidup dan mati.”

生 と 死

また、sudahとtelahは、同程度に派生語、語根(動詞、形容詞)とは共起することができるのに対し、名詞とは共起しにくい(例(12)から(18))。Ber接頭辞の前ではsudahしか観察されず、telahの例は一つも見られない。これまで挙げた例は「結果状態」相を示すsudah/telahであるが、日本語とインドネシア語の「結果状態」の意味や捉え方の違いは下記の例(14)にみられる。例(14)のSTは非過去「～ている」だが、直子の状態が徐々に少しずつ良くなってきているということを示しているのに対し、TTでは過去に状態が徐々に「よくなった」という点に達成し、その「よくなった」状態が現在まで続いているという違いがある。STではその「よくなる」という状況がいまだに徐々に進行しているのに対し、TTでは「よくなる」過程が徐々に進行し、過去のある時点で「よくなった」という完了に達した。そして、そのよくなった「結果状態」が継続していることを示しているのである。

- (14) 「それで直子は良くなっているんですか？」

“Ngomong-ngomong apa Naoko sudah membaik?”

ちなみに(口語) 何 直子すでに me 良い

ここまで、挙げた例は「結果状態」相を示すsudah/telahであるが、例(15)と(16)までは過去の動作を示し、「～ている」と「～ていた」双方のデータに抽出された。

- (15) 彼は99%まで完璧にやっていたのよ。

Ia sudah melakukannya 99 persen dengan sempurna.

彼すでに me-やる-kan +関係代名詞 nya % と 完璧

- (16) 「あの子もう始めから全部しっかりと決めていたのよ。」

“Sejak awal ia sudah membulatkan tekad.

から 初め 彼すでに me-丸-kan 意志

また、前にも言及した Echols and Shadily (1989) による sudah と telah の相違点だが、sudah は過去の状態・状況と指摘されるが例(15)と(16)に見られるように、sudah は過去の動作にも伴う

ものであると思われる。(15) の sudah melakukannya は laku (やる) が (夫であることを) 過去に行ったことを一まとまりとして示している。それに対して、日本語の文は過去に「やる」という行動が過去に繰り返し起こったことを示している。そして、(16) の「決めていた」は、「意志を丸くした⇒決心した」の意味を表している。つまり、「決心する」という一つの動作が過去のある時点で行われたことを示しているため、sudah と telah は簡単に状況・状態と動作の違いという風に簡単に整理できないことが、少なくとも日本語との対照において、明らかになった。

最後に、ber 接頭辞に伴う sudah/telah は、「～ている」資料では見当たらず、「～ていた」の部分のみ見出された。唯一、telah に伴う ber 接頭辞については例 (9) を参照されたい。Ber 接頭辞の意味機能については、下記の表をみられたい。

表 6 ber 接頭辞の意味機能

接辞	派生語の品詞	意味上の傾向	例
ber-	形容詞	所有・存在 「…をもった」「…のある」	<i>berpendidikan</i> 教養のある
	数形容詞	不定多数	<i>berpuluh-puluh</i> 何十も
	自動詞	行為「…する」	<i>berkata</i> ものを言う
	副詞	同伴「一緒に」	<i>berdua</i> 2つ一緒に

(17) 彼の机やラジオの上にはうっすらと埃がつもっていた。

Meja dan radionya sudah berdebu<sup>vi</sup>.

机 と ラジオ-関係代名詞 nya すでに 埃がついている

(18) 私たちはあなたを仲介にして外の世界に上手く同化しようと私たちなりに努力していたのよ。

Kami sudah berusaha untuk dapat melebur dengan dunia luar dengan  
私達 すでに ber-動力 ために 可 me 同化すると 世界 外 によって  
memanfaatkanmu sebagai media.

あなたを利用する として 手段

(17) の berdebu は「埃がついている」と直訳できるが、インドネシア語はその埃が徐々に机に積もっていたという状態を問題にしている。机とラジオとはよく使うものでいつもは埃も積もっていないのであるが、「しばらく使われていない」ために埃が積もった状態になっていることを表しているのである。例えば、meja dan radionya berdebu を逆に日本語に直すと「机とラジオに埃が積もっている」になるが、これは単に目の前にある状態を描写するだけになる。(17) の意味機能は、上の表には記載されないが、ものの一部という意味である。(18) の ST「努力していた」は、過去に「努力」の動作が繰り返し行われていたのに対して、TT の sudah berusaha は過去に繰り返し「努力」をしたのか、一回きりの「努力」なのかが不明である。この一回きり・反復性が不明であるという点は、例 (15) の一まとまりに類似していると思われる。

## 6. おわりに

インドネシア語はテンスがない一方、アスペクト・マーカが豊かであり、現時点でも研究余地

が広く、課題が多く残されている。その中でも、インドネシア語母語話者にとっても、その使い方がはっきりとせず、違いが区別つきにくいのが sudah と telah である。これにはインドネシア語言語学者に共通した意見である。本稿では、日本語からインドネシア語への翻訳における sudah/telah の違いを探ってみた。文末の「～ている」「～ていた」が対象の場合、telah より sudah が良く使われている。さらに、殆ど「～ていた」という形態で現れたのである。このことは、sudah/telah はある種のテンス・マーカーとして用いることができるという意見に一致するとも考えられる。Sudah は過去の状態、telah は過去の動作という風に簡単に分類されることもあるが、日本語の結果状態とインドネシア語の sudah/telah により示される結果状態の捉え方には違いがみられる。また、本稿のデータは文末の「～ている」「～ていた」を対象にしたインドネシア語訳文のため、量が少ない。しかし、本稿では、ある期間に繰り返し行われた日本語の動作は、インドネシア語に訳されにくいという点が明らかになった。インドネシア語の場合は動作の一まとまりか、一回きりの動作としてしか描写されない。

ST の「～ている」「～ていた」が「結果状態」を示すという点が、インドネシア語の sudah が「結果状態」を示しているという点に類似していることから、telah より sudah の方が自然に多く用いられるのではないかと考えられる。

また、sudah と telah の出現率の差については、インドネシア語自体の変化によるもの、あるいは翻訳インドネシア語による影響によるものといういくつかの要因が考えられる。最初の要因は、インドネシア語自体の変化である。インドネシア語は20世紀初期にオランダ植民地の時にオランダ東インド会社が国を統一し、貿易のコミュニケーションの手段として提案され、当時貿易が盛んだったマラッカで話されるマレー語を基に作られた言語である。当時、非常に類似しているマレー語とインドネシア語は殆ど同様に扱われ、研究されていたが、インドネシア語は常に激しく変化していく言語であり、当初のマレー語とはかなり異なってきている。2011年クアラルンプルで、マレーシアでは唯一マレー語を正式に用いる Universitas Kebangsaan Malaysia が開催した東南アジア言語学会で、現代インドネシア語は現代マレー語とは相当に分離してしまっていることが指摘された。もちろん、それぞれの本質的な意味機能は残っているのであるが、同一の言語として分析するのは困難であろう。

もう一つの要因として、翻訳技術の未熟さが挙げられる。日本語からインドネシア語への翻訳教育は英語の翻訳教育と比べるとまだ日が浅く、多くは日本語を ST とした翻訳インドネシア語である。日本語 ST がインドネシア語への翻訳技術に加え、インドネシア語⇒日本語への翻訳技術を更に向上させることが必要であると思う。

## 注

- i 九州大学大学院比較社会文化学府博士後期課程3年
- ii Sudah や telah のようなアスペクトマーカーについては、言語学者によって助動詞や機能語や副詞等呼び方が様々だが、本稿の定義は Nandang (1999) に基づいたもので、大きく2つに分類される。機能語 I は、先行性・同時性・後続性等と動作の基準時点との関係を表し、sudah, telah, baru, masih, sedang, pernah, akan 等これに属する。機能語 II は、mulai, selesai, habis 等で開始や終了の局面を表わす語。機能語 I 及び機能語 II の他に頻度を示す機能語 (sering, jarang 等) はその他に分類される。
- iii 719言語がある。 [http://www.ethnologue.com/show\\_country.asp?name=id](http://www.ethnologue.com/show_country.asp?name=id) 2012年6月30日23:

20にアクセス

- iv 下の部分：文末に出現した「～ている」「～ていた」に相当するインドネシア語の訳文。
- v 動詞、名詞、形容詞の語根になることができる
- vi (17) の意味機能は、所有・存在の意味を携行しているが、ものの一部という意味だと解釈できる。例えば bertopi (帽子のかぶっている) はその例である。

### 参 考 文 献

- Abbot, R. L. (1995). - Discourse conditions governing aspect: the use of “sudah” and “telah” in Indonesian, Master of Arts, Michigan State University, Ann Arbor, Michigan.
- Chaer, Abdul. (2009) *Sintaksis Bahasa Indonesia: Pendekatan Proses*. Jakarta: PT. Rineka Cipta.
- Danusugondo, P. (1975) *Bahasa Indonesia: Indonesian for beginners*. Sydney: Sydney University Press
- Echols J. M. & Shadily H. (1989) *An Indonesian-English dictionary* Ithaca: Cornell University Press.
- Grangé, P. (2010) Aspect and modality in Indonesian: The case of sudah, telah, pernah, and sempat. *Wacana* Vol. 12 No.2, pp.243-268
- Kwee, J. B. (1965) *Teach yourself Indonesian*. London: English Universities Press
- Mees, C. A. (1969) *Tatabahasa dan Kalimat*. Kuala Lumpur: University of Malaya Press.
- McCoy, Iwen Husein. (1985). Tense and Aspect: A Comparative Study of Meaning in English and Bahasa Indonesia (a dissertation). Austin: The University of Texas.
- McGinn, R. (1985). A principle of text coherence in Indonesian Language. *Journal of Asian Studies* (4), 743-773.
- Mintz, M. W. (1994) *A students grammar of Malay Indonesian*. Singapore: EPB Publisher Pte Ltd.
- Munaf, H. (1951) *Tatabahasa Indonesia: [untuk kelas-kelas tertinggi di sekolah-sekolah landjutan, S.M., S.G.B. Djakarta: Fasco*
- Nandang, R. (1999). 『日本語との対照におけるインドネシア語のアスペクト表現——語彙的表現手段と形態論的表現手段の関係——』名古屋大学、博士論文
- Nurhayati. (1999) *Pengungkapan Makna Keimperfektifan di Dalam Bahasa Indonesia: Telaah Tentang Keaspekan di Dalam Tiga Novel dan Terjemahannya*. Dissertation, Universitas Indonesia, Jakarta.
- Parera, J. D. (1994) *Sintaksis*. Jakarta: Gramedia Pustaka Utama.
- Pusat Bahasa, Departemen Pendidikan Nasional (2008) *Kamus Besar Bahasa Indonesia* (4th edition) Jakarta: Balai Pustaka.
- Restiani, Y. (2010) 『村上春樹『ノルウェイの森』における「～ている」「～ていた」のインドネシア語への翻訳法』九州大学大学院比較社会文化学府、修士論文
- Salim, A. (1994) The Problem of the Aspectual Classification of Indonesian Verbs. In C. Ode, & W. Stokhof, *Proceedings of the seventh international Conference on Austronesian Linguistics* (pp. 217-231) Leiden: Rodopi.
- Simorangkir-Simanjuntak, B. (1955) *Tatabahasa Sederhana Bahasa Indonesia*. Djakarta: Erlangga
- Sneddon, J. N. (1996) *INDONESIAN: A Comprehensive Grammar*. London: Routledge.
- Tadjuddin, M. (2002) Konjungsi Subordinatif Aspektualitas dan Temporalitas Bahasa Indonesia. *Linguistik Indonesia*, Vol. 20 (No. 1), 79-90.
- Tadjuddin, M. (1993) *Pengungkapan Makna Aspektualitas Bahasa Rusia dalam Bahasa Indonesia: Suatu*

- Telaah Tentang Aspek dan Aksionalitas*. Dissertation, Universitas Padjadjaran, Bandung.
- Tarigan, H. G. (1983) *Prinsip-Prinsip Dasar Sintaksis*. Bandung: Angkasa.
- 牛江清名. (1975) インドネシア語の入門. 東京: 白水社.
- 末永晃. (1976). インドネシア語入門. 東京: 大学書林.
- 寺村秀夫. (1984) 日本語のシンタクスと意味 II. 東京: くろしお出版.
- 森村蕃. (1996) 「インドネシア語における時の区分に関する一考察」、『大阪外国語大学論集』、41-58.
- 森山幹弘、柏村彰夫. (2003). 教科書: インドネシア語. 東京: めこん.
- ホラス由美子. (2005) インドネシア語レッスン (初級1). 東京: スリーイーネットワーク.

資料:

- Murakami, H. (2005) *Norwegian Wood*. (J. Johana, Trans.) Jakarta: Kepustakaan Populer Gramedia.
- 村上春樹 (1987) 『ノルウェイの森』 上・下 講談社文庫

## A Study on the Indonesian Function Words *Sudah* and *Telah* Denoting the Perfect and the Past

Yuli RESTIANI and Yoshiko MATSUMURA

Indonesian is said to be a tenseless language but with temporal and aspectual markers to exhibit its tense. The adverb 'sudah' and 'telah' are usually defined to be past tense and perfective aspect markers. The preceding literature describes the two to have exactly the similar meaning and function, and that both can be used and switched freely. The difference is that 'sudah' is commonly used in spoken language whilst 'telah' is more a written word. The purpose of this paper is to show that both adverbs are not entirely similar. While 'sudah' is often said to be used in spoken language, the data used show that even in novels 'sudah' is of more frequent occurrence compared to its counterpart. This might be caused by the dynamic change in the Indonesian language or by the unnatural translation into Indonesian.

### **Keywords**

the Indonesian, preterit, perfective, *sudah*, *telah*